



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL https://www.boi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,177	△50.1	582	△79.4	581	△79.5	384	△80.2
2023年9月期第1四半期	8,368	—	2,833	—	2,832	—	1,947	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 384百万円(△80.2%) 2023年9月期第1四半期 1,947百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	96.16	—
2023年9月期第1四半期	487.10	482.62

(注) 2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	6,675	4,063	60.9
2023年9月期	8,093	3,678	45.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 4,063百万円 2023年9月期 3,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

2024年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期1Q	4,003,000株	2023年9月期	4,003,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	60株	2023年9月期	60株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期1Q	4,002,940株	2023年9月期1Q	3,998,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているほか、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2022年における世界のモバイルゲーム市場は8兆9,146億円、そのうち日本国内では1兆2,129億円と安定した推移が続いております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2023」）。

このような事業環境のもと、当社グループでは、主力サービスである大型RPG「メメントモリ」の収益安定化と複数の新規アプリの企画・開発等に取り組んでまいりました。「メメントモリ」については、2022年10月の配信開始以降、継続的改善や新規ユーザー獲得を目的とした先行投資を行ってまいりましたが、この度の配信1周年に合わせて実施した施策等が好調に推移し、当第1四半期会計期間の売上高は直前四半期比22.2%増となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,177百万円（前年同四半期比50.1%減）、営業利益は582百万円（前年同四半期比79.4%減）、経常利益は581百万円（前年同四半期比79.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は384百万円（前年同四半期比80.2%減）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,418百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,703百万円減少、売掛金が119百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,803百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が1,198百万円減少、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が628百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を384百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、高品質ゲーム及びサービスの開発、世界同時運営及びグローバルIP展開等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,417	3,714
売掛金	2,030	2,150
その他	237	405
流動資産合計	7,686	6,269
固定資産		
有形固定資産	58	65
無形固定資産	4	4
投資その他の資産	343	335
固定資産合計	407	405
資産合計	8,093	6,675
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	374	304
未払金	1,432	1,575
未払法人税等	1,403	204
その他	878	237
流動負債合計	4,087	2,320
固定負債		
長期借入金	181	145
その他	145	145
固定負債合計	327	291
負債合計	4,415	2,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	2,400	2,785
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,678	4,063
純資産合計	3,678	4,063
負債純資産合計	8,093	6,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,368	4,177
売上原価	3,287	2,041
売上総利益	5,081	2,135
販売費及び一般管理費	2,247	1,553
営業利益	2,833	582
営業外収益		
受取手数料	12	1
その他	0	0
営業外収益合計	12	1
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	12	1
その他	0	0
営業外費用合計	14	2
経常利益	2,832	581
税金等調整前四半期純利益	2,832	581
法人税等	884	197
四半期純利益	1,947	384
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947	384

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,947	384
四半期包括利益	1,947	384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,947	384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。